

11.1 ライフライン被害予測

ライフラインの被害は、地震後の住機能支障、飲食機能支障および清掃・衛生機能支障に大きな影響を与えるため被害予測を行った。また、地震後のライフライン施設の応急復旧の日数についても各種機能支障に大きな影響を与えるため算定を行った。

11.1 概要

(1) 電力施設

電力施設の中で、東京電力㈱からデータの提供を受けた電柱、架空線、地下ケーブルを対象に被害予測及び応急復旧日数の算定を行った。

(2) 都市ガス

房総ガス協議会 18 事業者が供給する都市ガスについて、供給停止件数及び応急復旧日数の算定を行った。

(3) LP ガス

千葉県内の LP ガス普及率は 40%と比較的高いことから、LP ガスの被害件数を予測した。

(4) 上水道

上水道施設の中で埋設管の復旧が長期化する事例が多いことから、埋設管のうちの特配水管について被害件数、断水世帯数及び応急復旧日数の予測を行った。

(5) 工業用水道

上水道と同様の手法を用いて、工業用水の埋設管を対象として被害予測を行った。

(6) 下水道

37 市町村単独で事業を行っている公共下水道について、管きよの被害予測を行った。県の流域下水道については、過去の事例から主要下水道幹線管きよの被害は限定的であることから検討対象外とした。

(7) 通信施設

東日本電信電話㈱の統計データをもとに、通信施設の被害を定性的に予測した。

11.2 検討の流れ

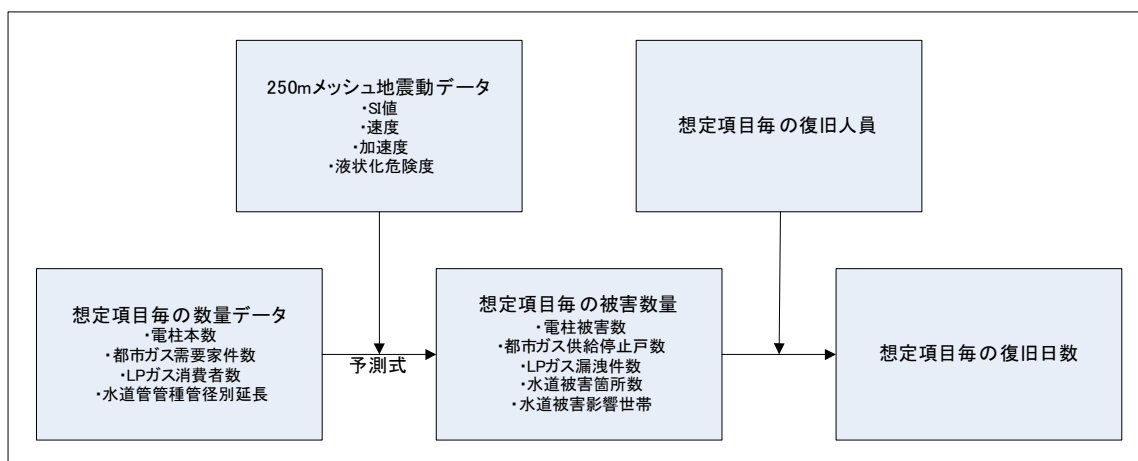


図 11.2-1 ライフライン被害予測の検討フロー